

技術専門委員会（第1回）の報告

1. 開催日時

平成22年3月11日（木） 10:00～12:00

2. 開催場所

国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所 2階会議室

3. 出席者

(1) 委員（五十音順）

伊藤 解子	北九州市立大学	教授	
小島 治幸	九州共立大学	教授	
善 功企	九州大学大学院	教授	（欠席）
森本 嘉人	日本野鳥の会	北九州支部長	
矢田 俊文	北九州市立大学	学長	【 委員長に選出】
柳 哲雄	九州大学応用力学研究所	所長	
山田真知子	福岡女子大学	教授	（欠席）
鷺尾 圭司	水産大学校	理事長	

(2) 関係者

宮地 豊	九州地方整備局	北九州港湾・空港整備事務所	所長
森木 亮	九州地方整備局	関門航路事務所	所長
（代理）長掛哲弘	同事務所		副所長
濱口 信彦	九州地方整備局	港湾空港部 港湾計画課	課長
石井 伸治	九州地方整備局	港湾空港部 海洋環境・技術課	課長
（代理）末本浩二	同課		課長補佐

4. 主な議題

委員長選出

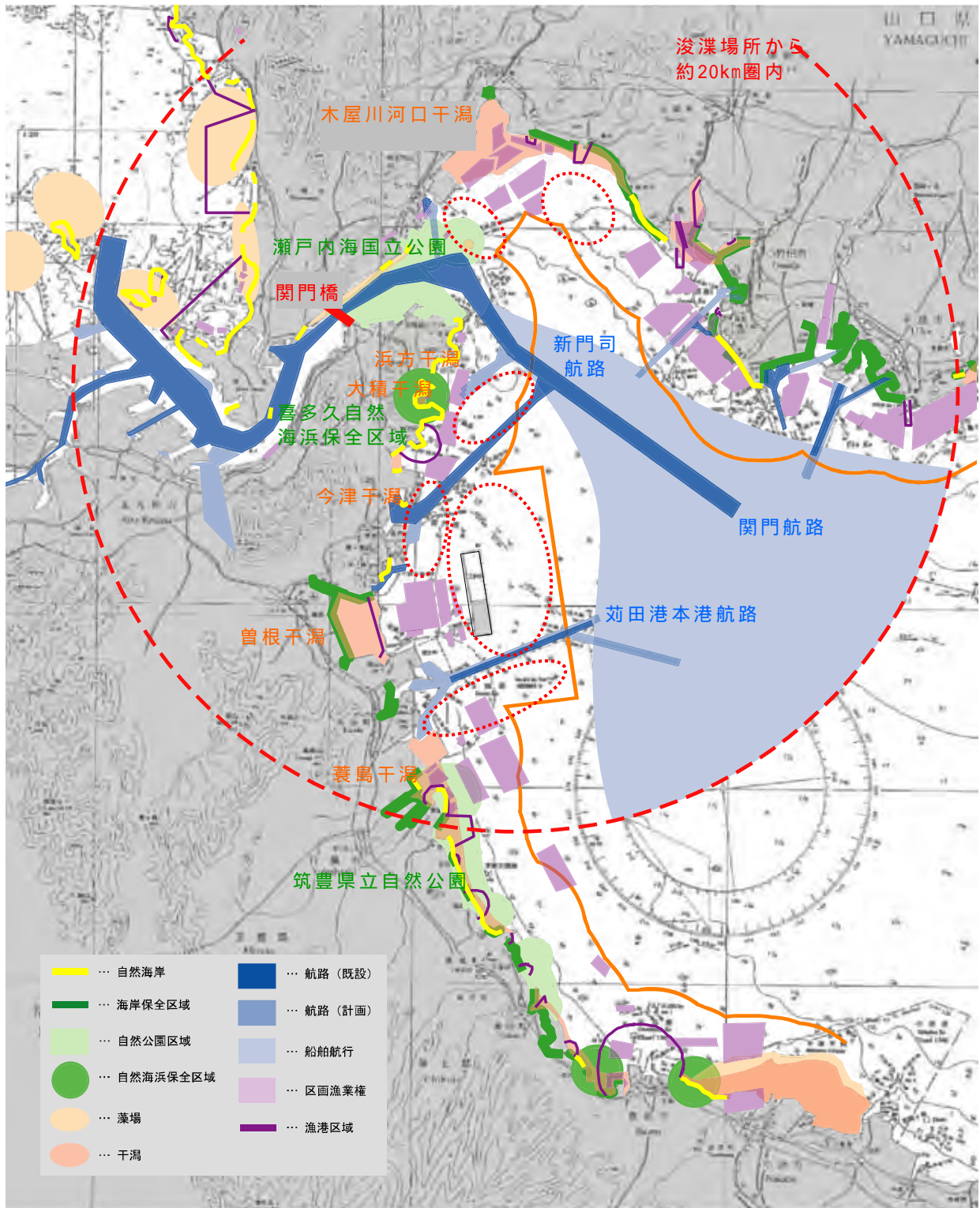
技術専門委員会の要綱（案）について

土砂処分場計画策定スケジュールについて

関門航路周辺海域における土砂処分場計画について

5 . 主な助言と対応

検討事項	助 言	対 応
事業の必要性について	<p>関門航路を通航する船舶の動向、物流の動向等について、資料を整理すること。</p>	<p>資料について整理する。</p>
	<p>大型船舶の航行数増加に伴う漁業活動への影響（漁船の排除の有無）を整理すること。</p>	<p>漁業活動への影響について整理する。</p>
土砂処分場設置候補海域の選定について	<p>ゾーン 、ゾーン については近隣に木屋川河口干潟が存在しており、地形や生物生息環境等への影響が懸念される。</p>	<p><u>地形や自然環境への影響の観点から、ゾーン 、 、 を設置候補海域から除外する。</u></p>
	<p>ゾーン については、自然海岸がある。また、波を遮蔽するような構造物を設置すると、粘性土が堆積しやすくなるということが懸念される。</p>	
評価項目について	<p>構造物が設置されることによる海岸地形や海域環境の影響等も考慮すること。</p>	<p>必要に応じて適宜項目の追加等を行っていきたい。</p>
	<p>土砂処分場設置による野生鳥類等への影響の観点を追加した方がよい。特に曾根干潟は野生鳥類にとって重要である。</p>	
	<p>生物多様性の観点を追加した方がよい。</p>	
	<p>完成形の評価だけでなく、土砂搬入を行っている期間も長いことから、その時間的なものについても配慮すること。</p>	



- 【ゾーン】 埴生港前面海域 (除外)
- 【ゾーン】 下関港長府地区前面海域 (除外)
- 【ゾーン】 新門司航路北側海域 (除外)
- 【ゾーン】 北九州港新門司地区前面海域
- 【ゾーン】 新門司沖土砂処分場周辺海域
- 【ゾーン】 苅田港本港航路南側海域